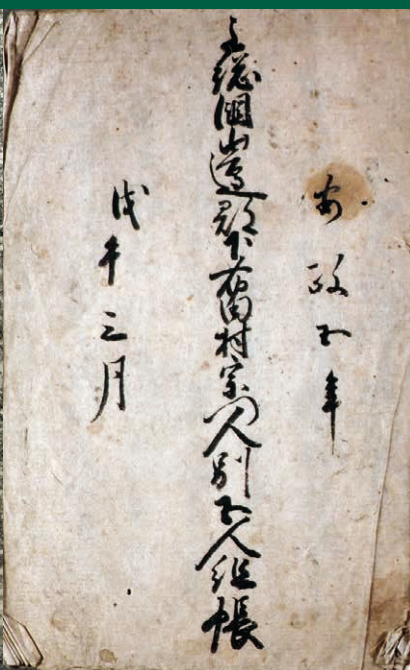


企画展



「杉」とともに歩んできた村

— 房総の名主Ⅳ 山武市下布田の文書群から —



上総国山辺郡下布田村宗門人別五人組帳
(石田 (和) 家文書)

開催期間

令和8年10月1日(木)～

令和9年2月27日(土)

会場 千葉県文書館 1階展示室

入場
無料



文書が現在を過去を未来を語ります

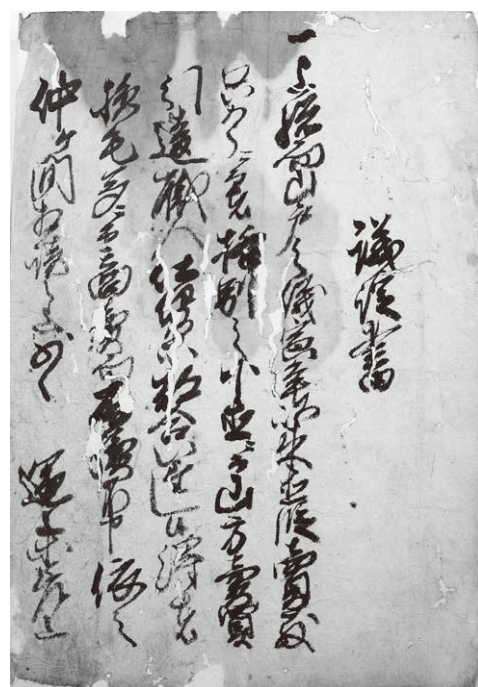
千葉県
文書館

TEL : 043-227-7552

https://X.com/chiba_pref_bun

千葉県文書館では、令和8年3月末時点で未整理のものも含めおよそ62万点の古文書を収蔵しています。それらの多くは、江戸時代に千葉県内各地で名主等の村役人を務めていた家に残されていた文書です。これらは、村政運営の参考や訴訟の際の証拠とするなど、様々な理由から保存・保管されていました。

今回の展示では、山武市下布田の文書を中心に取り上げました。江戸時代、下布田村は、のちに「山武杉」と呼ばれる特産品になった「杉」を始めとした林業が営まれている村でした。さらに、大都市江戸の近郊という恵まれた場所であったことから、その豊富な材木需要を満たす一端を担っていました。また、当村は江戸幕府が設定した「牧」に隣接する村であったことから、それらに関する資料も残されています。当館には、この村の名主を務めた家の文書が3件残されています。これらの文書を活用して、江戸時代の下布田村の様相について探っていきます。



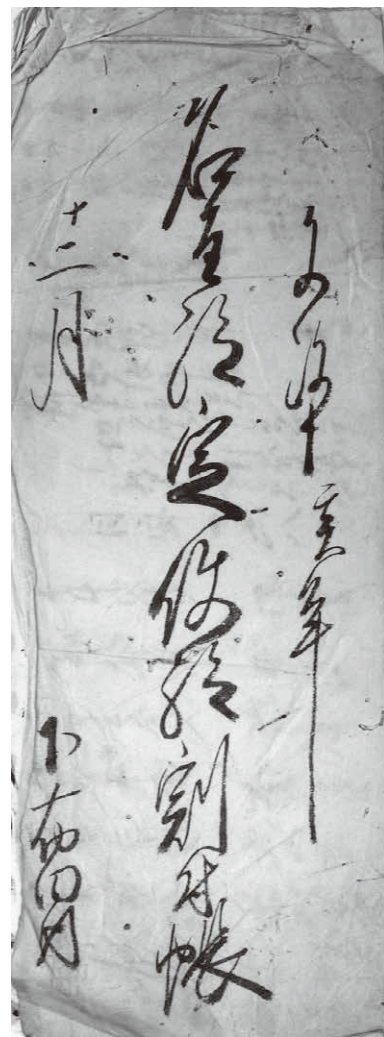
材木仲間一統□□□ (連印帳)
(並木 (和) 家文書)



御鹿狩御場絵図
(並木 (智) 家文書)

【交通案内】

- JR本千葉駅徒歩10分／千葉都市モノレール県庁前駅徒歩3分／京成千葉中央駅徒歩10分／
- JR千葉駅徒歩20分／JR千葉駅からバス2、3、4番乗り場から県庁前下車徒歩3分



名主給定使給割付帳
(石田 (和) 家文書)